

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和07年08月19日

計画の名称	市街地における安全で円滑な交通の確保													
計画の期間	令和05年度 ～ 令和09年度（5年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	静岡県													
計画の目標	交通が集中する用途区域内における都市計画道路を整備することにより、渋滞解消を図り安全・安心で円滑な交通を確保し、快適に中心都市を移動できる道路ネットワークを構築する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		10,417	A	10,417	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R5末)		(R9末)
1	用途地域内における都市計画道路（幹線街路）の改良率を66.1%（R4末見込み）から67.4%（R9末）に向上させる。			
	用途地域内における都市計画道路（幹線街路）の改良率 （用途地域内における都市計画道路（幹線街路）の改良率）＝（用途地域内における整備済みの幹線街路延長）／（用途地域内における都市計画決定された幹線街路延長）	66%	%	67%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	静岡県	直接	静岡県	S街路	改築	（都）志太中央幹線	バイパス L=0.47km	藤枝市	■	■	■	■	■	98	2.70	－
	A01-002	街路	一般	静岡県	直接	静岡県	S街路	改築	（都）金岡浮島線（東原 工区）	バイパス L=0.56km	沼津市	■	■	■	■	■	4,063	1.78	－
	A01-003	街路	一般	静岡県	直接	静岡県	S街路	改築	（都）田中青木線（貴船 工区）	バイパス L=0.34km	富士宮市	■	■	■	■	■	1,960	1.42	－
	A01-004	街路	一般	静岡県	直接	静岡県	S街路	改築	（都）志太中央幹線（大 手・郡工区）	バイパス L=0.25km	藤枝市	■	■	■	■	■	1,827	1.66	－
	A01-005	街路	一般	静岡県	直接	静岡県	S街路	改築	（都）御殿場小山線	現道拡幅 L=0.28km	御殿場市	■	■	■	■	■	772	1.66	－
	A01-006	街路	一般	静岡県	直接	静岡県	S街路	改築	（都）大山本町線	現道拡幅 L=0.75km	御前崎市	■	■	■	■	■	1,296	1.01	－
	A01-007	街路	一般	静岡県	直接	静岡県	S街路	改築	（都）下田港横枕線	現道拡幅 L=0.13km	下田市	■	■	■	■	■	241	1.07	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-008	街路	一般	静岡県	間接	浜田土地区 画整理組合	区画	改築	浜田地区（（都）東名川 尻幹線）	区画整理 A=37.1ha	吉田町		■	■	■	■	160		—	
											小計							10,417		
											合計							10,417		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05	R06	R07		
配分額 (a)	292	382	335		
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	292	382	335		
前年度からの繰越額 (d)	203	228	221		
支払済額 (e)	268	389	418		
翌年度繰越額 (f)	227	221	139		
うち未契約繰越額(g)	179	136	60		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	36.16	22.29	10.84		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	用地・物件補償の交渉に不測の日時を要したため	用地・物件補償の交渉に不測の日時を要したため	用地・物件補償の交渉に不測の日時を要したため		

事前評価チェックシート

計画の名称： 市街地における安全で円滑な交通の確保

[illegible]